

社長パトロール

決意持ち取組みを

東京国際空港舗装現場で

大成ロテックの西田社長

大成ロテックの西田義則社長は3月16日、年度末労働災害防止強調月間の取り組みの一環として、東京都大田区の



「東京国際空港N地区エプロン他舗装等工事」で安全パトロールを実施した。写真。

西田社長は、コンクリート舗装の施工状況などを確認し、「重機・車両・人の区画が徹底されていないと死亡事故につながるリスクは大きくなる。重機災害を防ぐために何をするか考え、決意を持って取り組まなければならぬ。道路業界のリーダー企業として、模範となる安全管理を実施してほしい」と訓示した。また、パトロール終了後には、同現場に従事する若手社員と意見交換会を実施し、余暇や趣味も仕事に生かして自ら成長していくことの重要性などについて、活発に意見交換した。